# 全国雪対策連絡協議会の活動報告

# 公益社団法人 雪センター

#### 雪対策協議会の活動

昨今の雪対策をめぐる状況は、気候変動による局所的・集中的降雪や記録的豪雪の多発・異常少雪の発生、少子高齢化・過疎化による住民の雪に対する対応力・協力体制の弱体化等、深刻な課題が生じております。これらの課題を抱えた市町村が、それぞれ個別に対応して行く事は今や不可能になってきており、市町村が力を合わせて、他の機関とも連携・協力していく事が不可欠です。

「全国雪対策連絡協議会」は、全国の200を超える雪センターの市町村会員からなる組織で、13の道県に雪対策協議会が設置されております。雪センターは、各協議会に対して、適宜必要な情報の提供を行っております。

各協議会は日頃から「会員相互の情報交換・意見交換」を行っておりますが、雪センターとしては、これらの情報交換・意見交換が有効に行われ、情報の共有と結束の強化が図れるよう、場の設定や機会を設けております。また各協議会の活動が一層活発に行われるように、支援金を配布しております。

協議会の通常の活動に加えて、協議会が自主的に個別的に行う活動に対しても、支援金を配布してその活動を支援しております。自主的・個別的な活動としては、例えば講師を招いての講演会・研修会、関係者の参加によるシンポジウム・意見交換会、対外的広報等、様々なものが考えられます。このような活動により、職員の資質の向上が図られるとともに、会員市町村相互の情報共有が行われ、連携・協力体制を強めることが出来ます。また雪対策に対する多くの人の理解を深め、協力を得ることもできます。この他にも色々な活動が考えられると思います。これらの個別の活動に要する経費を、雪センターが支援金として配布し支援しています。これが会員の確保、拡大につながる事を期待しております。

各協議会の積極的な取組みを、期待しておりますので、雪センターにお申し出下さい。

#### 市町村の意見・要望の集約と要望活動

各道県の雪対策協議会の会員となっている市町村は、 日頃から情報交換や意見交換を行っておりますが、各協 議会の場において出された意見・要望を実現していくに は、それらを取りまとめて、関係機関に訴えて行く必要 があります。

雪センターは、各道県の協議会を通じて出された意見や要望を集約して要望書を作成し、200を超える市町村からなる全国雪対策連絡協議会として、毎年夏と秋に関係機関に要望活動を行っております。

要望を受けた関係機関は、全国の200を超える市町村の要望であるという認識をもって頂き、要望内容を十分に尊重し、理解したうえで、その実現に尽力して頂いております。

#### 夏と秋の要望活動

毎年7月に、全国雪対策連絡協議会の総会が行われておりますが、コロナ禍にあるため、昨年度に引き続き本年度においても、書面での総会となりました。例年行っている総会後の参加者による要望活動も、昨年と同様に、書面総会で決議された8月10日付の要望書を、事務局である雪センターが関係機関に提出いたしました。これについては、既に前号の機関誌で報告致しました。

秋の要望活動につきましては、例年通り各協議会を通じて提出された意見・要望を集約・集計し、事務局であるセンターが要望書案を作成し、御承認を頂いて要望書と致しました。要望活動については、依然としてコロナ禍が収束していないことから、事務局である雪センターが11月26日に関係機関に提出致しました。提出にあたっては、十分に状況を説明致し、特段の御配慮をお願い致しました。これらが今後の「予算の拡大」、「新たな施策、制度の創設」にもつながって行く事と思われます。

提出先と要望書を添付致します。

#### 冬の緊急要望活動

平年の降雪・積雪を大幅に上回っている年には、緊急 要望を行っております。昨年度は全国的な豪雪であった ため、全国雪対策連絡協議会としても要望書を作成し、 2月25日事務局である雪センターが関係機関に緊急要 望書を提出致しました。

今冬については、今後の状況を見て判断する事になり ます。

# 全国雪対策連絡協議会 要望書提出先

令和3年11月26日

国土交通省									
国土交通大臣	+	4.5	λ·I.	4	<b>- 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. </b>				
国土交通入臣国土交通副大臣	斉	藤四	鉄	夫	水管理・国土保全局	44	,	Kn	<b>1</b>
	渡	辺、	猛	之	局長	井	上	智	夫一
国土交通副大臣	中	山	展	宏	次長	高	橋	謙	司
国土交通大臣政務官	加	藤	鮎	子	河川計画課長	佐	藤	寿	延
国土交通大臣政務官	泉	田	裕	彦	治水課長		々木		
国土交通大臣政務官	木	村	次	郎	防災課長	朝	堀	泰	盱
国土交通事務次官	山	田	邦	博	災害対策室長	田	中	克	直
技監	吉	岡	幹	夫	下水道部長	植	松	龍	_
国土交通審議官	藤	井	直	樹	下水道事業課長	松	原		訪
国土交通審議官	岡	西	康	博	流域管理官	藤	井	政	人
国土交通審議官	石	田		優	砂防部長	Ξ	上	幸	Ξ
					砂防計画課長	草	野		_
大臣官房					保全課長	伊	藤	仁	走
大臣官房長	瓦	林	康	人	道路局				
総括審議官	天	河	宏	文	局 長	村	山	_	弱
技術審議官	廣	瀬	昌	由	次 長	佐	々木	正士	二郎
技術調査課長	森	户	義	貴	官房審議官	倉	野	泰	行
総合政策局					総務課長	出	口	陽	_
局 長	和	田	信	貴	企画課長	山	本		II
次 長	大	髙	豪	太	国道・技術課長	長	谷川	朋	31
公共事業企画調整課長	岩	見	吉	輝	環境安全・防災課長	荒	瀬	美	禾
公共事業企画調整課事	业以上	工组束	文宁		道路防災対策室長	信	太	啓	貴
ム六甲未正四晌登砵争	未続打	白門当	ED		边路仍入八水主人	10		石	贝
<b>厶六手未企凹驹登球事</b>		占酮型 村		博	住宅局	10	<i>X</i>	谷	贝
公共事業企画調整課施	木	村	康			泛	<b>野</b>	谷 博	
	木	村	康		住宅局				久
	木 工安/	村全企画	康	長	住宅局 局 長	淡	野	博	久善
公共事業企画調整課施	木工安全新	村全企画田	康	長士	住宅局 局 長 住宅総合整備課長 安心居住推進課長	淡岩上	野下森	博泰	久善
公共事業企画調整課施 国土政策局	木 工安新 青	村全企画	康室恭一	長士郎	住宅局 局 長 住宅総合整備課長	淡岩上	野下森長	博泰康	久善幹
公共事業企画調整課施 国土政策局 局 長 官房審議官	木安新 青吉	村企田 柳田	康室恭 一幸	長士郎三	住宅局 局 長 住宅総合整備課長 安心居住推進課長 住宅総合整備課住環境	淡岩上黄	野下森	博泰康	久善幹
公共事業企画調整課施 国土政策局 局 長	木安新 青吉黒	村企田 柳田川	康室恭 一幸	長士郎三一	住宅局 局 長 住宅総合整備課長 安心居住推進課長 住宅総合整備課住環境 北海道局	淡岩上舞田	野下森長中	博泰康 政	久善幹 幸
公共事業企画調整課施 国土政策局 局 長 官房審議官 官房審議官 官房審議官	木安新 青吉黑池	村企田 柳田川光	康室恭 一幸淳	長士 郎三一崇	住宅局 長 長 住宅総合整備課長 安心居住推進課長 住宅総合整備課住環境 北海道局 長	淡岩上備田 髙	野下森長中 橋	博泰康 政 季	久善幹 幸 承
公共事業企画調整課施 国土政策局 局房審議官官房審議官官房審議官官方振興課長	木安新 青吉黒	村企田 柳田川	康室恭 一幸淳	長士郎三一	住宅局 長 信宅給 長 住宅給合整備課長 安心居住推進課長 住宅総合整備課住環境 北海道局 長 富房審議官	淡岩上備田 高富	野下森長中 橋樫	博泰康 政 季篤	久善幹 幸 承英
公共事業企画調整課施 工政 長 居房房審議議官官 官房房審議議官官 市 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京	大安新 青吉黑池呉	村企田 柳田川光祐	康室恭 一幸淳 一	長士 郎三一崇郎	住宅局 長 信宅 衛課長 住宅 居 住宅 居 住宅 路 住 建 工	淡岩上備田 高富吾	野下森長中 橋樫郷	博泰康 政 季篤俊	久善幹 幸 承英極
公共事業企画調整課施 工政策局 官房房房房房房房房房房房房房房房房房 高房房房房房房房房房房房房房 下下下下下下下下下下	工 木安新 青吉黑池呉 長	村企田 柳田川光祐	康室恭 一幸淳 一 和	長士 郎三一崇郎 久	住宅局 長 信宅	淡岩上備田 高富吾佐	野下森长中 桥樫鄉藤	博泰康 政 季篤	久善幹 幸 承英極晴
公共事業企 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 二 二 二 二 二 二 三 官 官 官 官 官 官 官 官 官 官 官 官 官	大安新 青吉黑池呉	村企田 柳田川光祐	康室恭 一幸淳 一 和	長士 郎三一崇郎	住宅局 長 合整備課長 信宅居住 安住 客 住 医合性	淡岩上備田 高富吾佐金	野下森长中 桥樫鄉藤森	博泰康 政 季篤俊	久善幹 幸 承英極晴敬
国 本 本 本 本 本 本 本 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	工 青吉黑池吳 長鎌	村企田 柳田川光祐 橋原	康室恭 一幸淳 一 和宜	長士 郎三一崇郎 久文	住宅局長 高 医含性	淡岩上備田 高富吾佐金遠	野下森长中 桥樫鄉藤森藤	博泰康 政 季篤俊忠	久善幹 幸 承英極晴敬平
五共事業局 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	工工 青吉黑池吳 長鎌 宇	村企田 柳田川光祐 橋原 野	康室恭 一幸淳 一 和宜 善	長士 郎三一崇郎 久文 昌	住宅局 長 經居	淡岩上備田 高富吾佐金遠柿	野下森长中 桥樫绑藤森藤崎	博泰康 政 季篤俊忠 恒	久善幹 幸 承英極晴敬平美
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 二 二 三 官 官 官 官 官 官 言 言 言 是 表 。 表 。 是 表 。 是 表 。 是 、 是 。 是 。 是 。 是 。 是 。 是 。 是 。 是 。 是	工工 青吉黑池吳 長鎌 宇渡	全田 柳田川光祐 橋原 野邊	康室恭 一幸淳 一 和宜 善浩	長士 郎三一崇郎 久文 昌司	住宅局 医二角	淡岩上備田 高富吾佐金遠	野下森长中 桥樫鄉藤森藤	博泰康 政 季篤俊忠	久善幹 幸 承英極晴敬平美
国 官官官地動局建市局官ま 表 議議議興建 悪	工工 青吉黑池吳 長鎌 宇渡光	社企田 柳田川光祐 橋原 野邊安	康室恭 一幸淳 一 和宜 善浩達	長士 郎三一崇郎 久文 昌司也	住宅局住安住 海局官官総予地水参先長居総 局長審審課課課官 高長審審課課課官 富官 人名	淡岩上備田 高富吾佐金遠柿米	野下森长中 桥樫鄉藤森藤 崎津	博泰康 政 季篤俊忠 恒仁	久善幹 幸 承英極晴敬平美
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 二 二 三 官 官 官 官 官 官 言 言 言 是 表 。 表 。 是 表 。 是 表 。 是 、 是 。 是 。 是 。 是 。 是 。 是 。 是 。 是 。 是	工工 青吉黑池吳 長鎌 宇渡	全田 柳田川光祐 橋原 野邊	康室恭 一幸淳 一 和宜 善浩達	長士 郎三一崇郎 久文 昌司	住宅局住安住 海局官官総予地水参光長長長住曜	淡岩上備田 高富吾佐金遠柿米 和	野下森长中 桥樫鄉藤森藤崎津 田	博泰康 政 季篤俊忠 恒仁 浩	久善幹 幸 承英極晴敬平美言
国 官官官地動局建市局官ま 表 議議議興建 悪	工工 青吉黑池吳 長鎌 宇渡光	社企田 柳田川光祐 橋原 野邊安	康室恭 一幸淳 一 和宜 善浩達	長士 郎三一崇郎 久文 昌司也	住居 化	淡岩上備田 高富吾佐金遠柿米 和村	野下森长中 桥柽纲藤森藤 崎津 田田	博泰康 政 季篤俊忠 恒仁 浩茂	久善幹 幸 承英極晴敬平美云 一極
国 官官官地動局建市局官ま 表 議議議興建 悪	工工 青吉黑池吳 長鎌 宇渡光	社企田 柳田川光祐 橋原 野邊安	康室恭 一幸淳 一 和宜 善浩達	長士 郎三一崇郎 久文 昌司也	住 化	淡岩上備田 高富吾佐金遠柿米 和村木	野下森长中 桥樫绑藤森藤崎津 田田村	博泰康 政 季篤俊忠 恒仁 浩	久善幹 幸 承英極晴敬平美云 一極央
国 官官官地動局建市局官ま 表 議議議興建 悪	工工 青吉黑池吳 長鎌 宇渡光	社企田 柳田川光祐 橋原 野邊安	康室恭 一幸淳 一 和宜 善浩達	長士 郎三一崇郎 久文 昌司也	住居 化	淡岩上備田 高富吾佐金遠柿米 和村	野下森长中 桥柽纲藤森藤 崎津 田田	博泰康 政 季篤俊忠 恒仁 浩茂	久善幹 幸 承英樹晴敬平美司 一樹央達

# 積雪寒冷特別地域における諸対策の推進に関する要望書

国土の約6割、人口の約2割を占める積雪寒冷地域は、永年にわたる雪対策の推進により、住民生活と社会・経済活動は格段に向上しましたが、昨今の自然条件、社会・経済状況等の著しい変化により、雪対策は以下のような深刻な課題に直面しております。

- ① 気候変動による、記録的な局所的・集中的降雪や、異常豪雪の多発と異常少雪の発生。
- ② 急速な少子・高齢化、過疎化による、住民の自助による雪への対応力の低下。
- ③ 住民の連帯・協働体制の弱体化、住民要望の多様化による、行政依存・行政負担の増大。
- ④ 建設投資の減少、高齢化・人手不足による、雪対策の担い手の経営環境の悪化・弱体化。
- ⑤ 増大していく行政負担に対し、厳しい財政状況にある地方自治体の対応の限界。

全国雪対策連絡協議会の202の市町村は、総力を結集して関係機関と連携・協力して、雪対策に取り組んでおりますが、国の御理解と御支援が不可欠であり、昨年度の大雪を受けて改定された「大雪時の道路交通確保対策・中間とりまとめ」も踏まえ、以下の事項を要望致します。

# 災害への備えによる雪国の安全・安心の確保

事前の防災・減災対策の推進(ダブルネットワークの構築、支援体制充実) 国土強靱化地域計画に基づく重点的事業の実施

#### 道路予算の確保と事業の計画的推進

「積雪寒冷特別地域道路交通確保五箇年計画」の実施に必要な道路予算の確保 基幹的な道路ネットワークの強化(高速道路や主要国道の4車線化、付加車線・登坂車線の設置等) 事業の計画的、強力な推進(除雪・防雪・凍雪害防止事業) スポット対策の集中実施(消融雪施設の整備、防護柵の設置等)

# 豪雪地帯対策特別措置法の特別措置の延長と制度の拡充

同法第14条(道府県代行の特例)及び第15条(補助率・負担率の引き上げ)の10カ年延長豪雪地帯特有の課題に対して、交付金や基金等により柔軟に対応できる財政支援制度の創設

#### 雪に強い地域づくり、街づくりの推進

道路、河川、下水道等が一体となった雪に強い地域づくり、コンパクトな街づくりに対する支援 公共交通機関の、利便性向上への支援

# 連携・協力による除排雪事業の推進

国・県・市町村、住民、ボランティア等が協力できる、連絡・調整、応援体制の強化 豪雪時の、広域的に連携した支援体制確保、国土交通省緊急災害対策派遣隊の支援活動の推進 効果的除排雪作業のための関係機関の協力・協議の推進(雪堆積場、雪捨て場の確保)

#### 少子・高齢化社会への対応の促進

高齢者、身体障害者のためのバリアフリーの推進 高齢者世帯の除排雪作業への財政的支援の拡充 除排雪作業の負担軽減や安全確保のための除排雪体制の整備、技術開発の促進

# 豪雪への支援策の推進

豪雪地域への、地方交付税算定時の雪寒補正の強化 道路除雪、道路施設の維持・修繕に対する財政支援(臨時特例措置等による財政支援) 異常豪雪に対する緊急的な安全確保のための施策の推進

# 除排雪への支援の拡大

除排雪作業への財政的支援の拡大(除雪機械整備の補助枠拡大) 除排雪の省力化、効率化、コスト縮減に対する支援の充実(ICT、AI技術、自動運転、新技術の導入等)

#### 除排雪の担い手の確保と育成

地元建設業者等の存続のための施策の推進(人材確保、オペレータの育成、除雪機械の確保) 適正な利潤が確保できる施策の推進(実態に配慮した発注、積算・契約・仕様) 少雪時の経費負担に対する支援の拡大(稼働基準時間、待機経費の保証) 合併を促す施策の推進

#### 雪崩等の災害対策の推進と必要予算の確保

雪崩対策施設や砂防堰堤の整備と危険箇所の周知 災害復旧事業の推進(雪崩・融雪による災害、早期復旧体制確立、被災地への支援)

## 雪対策施設の整備と更新、維持管理への支援

雪対策施設の整備と維持管理費に対する支援(消流雪用水施設、流・融雪溝、雪置き場、雪対策ダム等) 老朽化した雪対策施設の更新事業への支援

## 克雪住宅の普及促進と空き家対策への支援

雪国の特性に応じた克雪住宅の普及促進、支援(融雪・落雪屋根、命綱固定金具設置) 雪により倒壊した空き家及び倒壊の恐れのある空き家の除去並びに空き家の除雪に対する支援

## 雪国の魅力を活かした地域の発展の推進

観光、イベント、特産物等による地域の活性化の取組への支援 冬期間においても人や物の移動が確保できる基盤整備の推進

#### 技術開発の推進と情報システムの整備

コスト縮減、省力化、作業の環境改善・安全確保のための、調査研究、技術開発の推進 利雪、雪害等の調査研究、技術開発の推進 雪に関する気象観測、予警報、情報通信システムの構築整備の促進

令和3年11月26日

## 全国雪対策連絡協議会

会	長	青森県青森市長	小野芸	5晃彦
副会	長	北海道滝川市長	前田	康吉
副会	長	新潟県長岡市長	磯田	達伸
副会	長	岐阜県高山市長	國島	芳明
理	事	北海道小樽市長	迫	俊哉
理	事	岩手県盛岡市長	谷藤	裕明
理	事	宮城県蔵王町長	村上	英人
理	事	秋田県秋田市長	穂積	志
理	事	福島県会津若松市長	室井	照平
理	事	富山県舟橋村長	古越	邦男
理	事	石川県金沢市長	山野	之義
理	事	福井県大野市長	石山	志保
監	事	山形県新庄市長	山尾	順紀
監	事	長野県飯山市長	足立	正則